

# 後期（熟年）高齢者に対する オンラインHDF

援腎会すずきクリニック  
鈴木一裕 鈴木翔太

## 【目的】

- ・ オンラインHDFは、診療報酬改訂にて評価されたこともあり急速に広がってきている。
- ・ オンラインHDFは、若年者の合併症予防として行われていることが多い。
- ・ 当院では、オンラインHDFは高齢者を含めた全ての患者に対し行い、透析時間延長、血流量増加と共にしっかり透析として施行している。
- ・ 後期高齢者に対するオンラインHDFとしっかり透析について検討したので報告する。

## 【対象と方法】

- 対象：当院の75歳以上の透析患者
- 転院後1年以上経過した20名  
(平成25年11月時点で74歳以上の21名中癌死した1名を除く)
- オンラインHDFを9ヵ月以上行った11名  
及びそれ以外の9名
- 過去1年間におけるalb、DW、GNRI、  
Inbody720<sup>※</sup>)で測定した筋肉量と脂肪量の推移を検討

※ Inbody720: 体成分分析装置

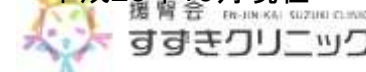
# 【対象】

	on-lineHDF 継続群	on-lineHDF 非継続群
対象患者	11名	9名
年齢[歳]	79.5±2.6	80.4±3.7
DW[kg]	56.8±10.6	51.3±11.1
透析歴[ヶ月]	40.4±35.3	54.6±25.5
透析時間[時間]	4.8±0.3	4.7±0.3
血流[mL/min]	314.5±38.0	290.0±20.0
Kt/V	2.15±0.38	2.10±0.42

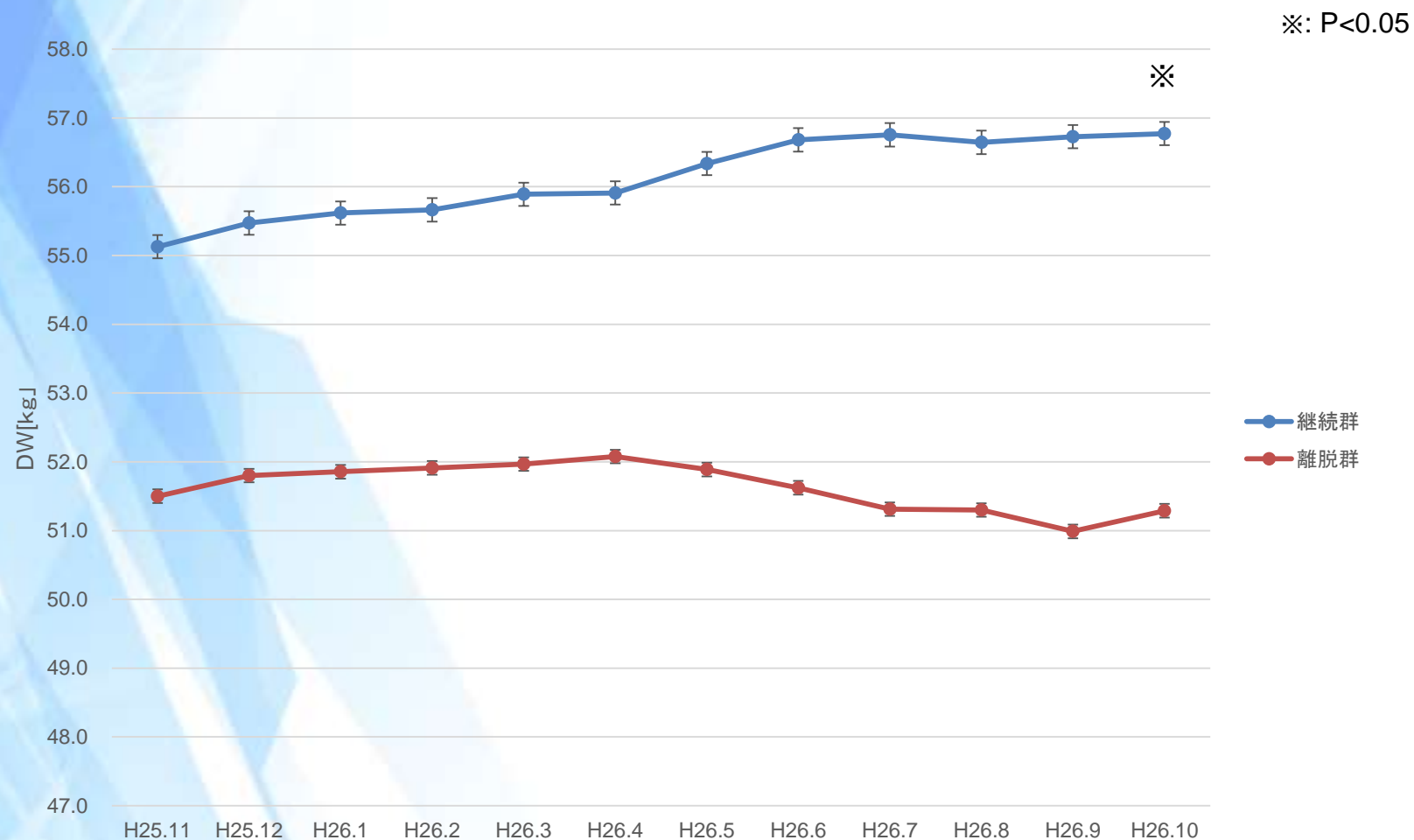
(全ての項目で有意差無し)

		非継続理由	人数(人)
on-lineHDF 非継続群	9名	栄養状態低下	6
		貧血	2
		その他	1

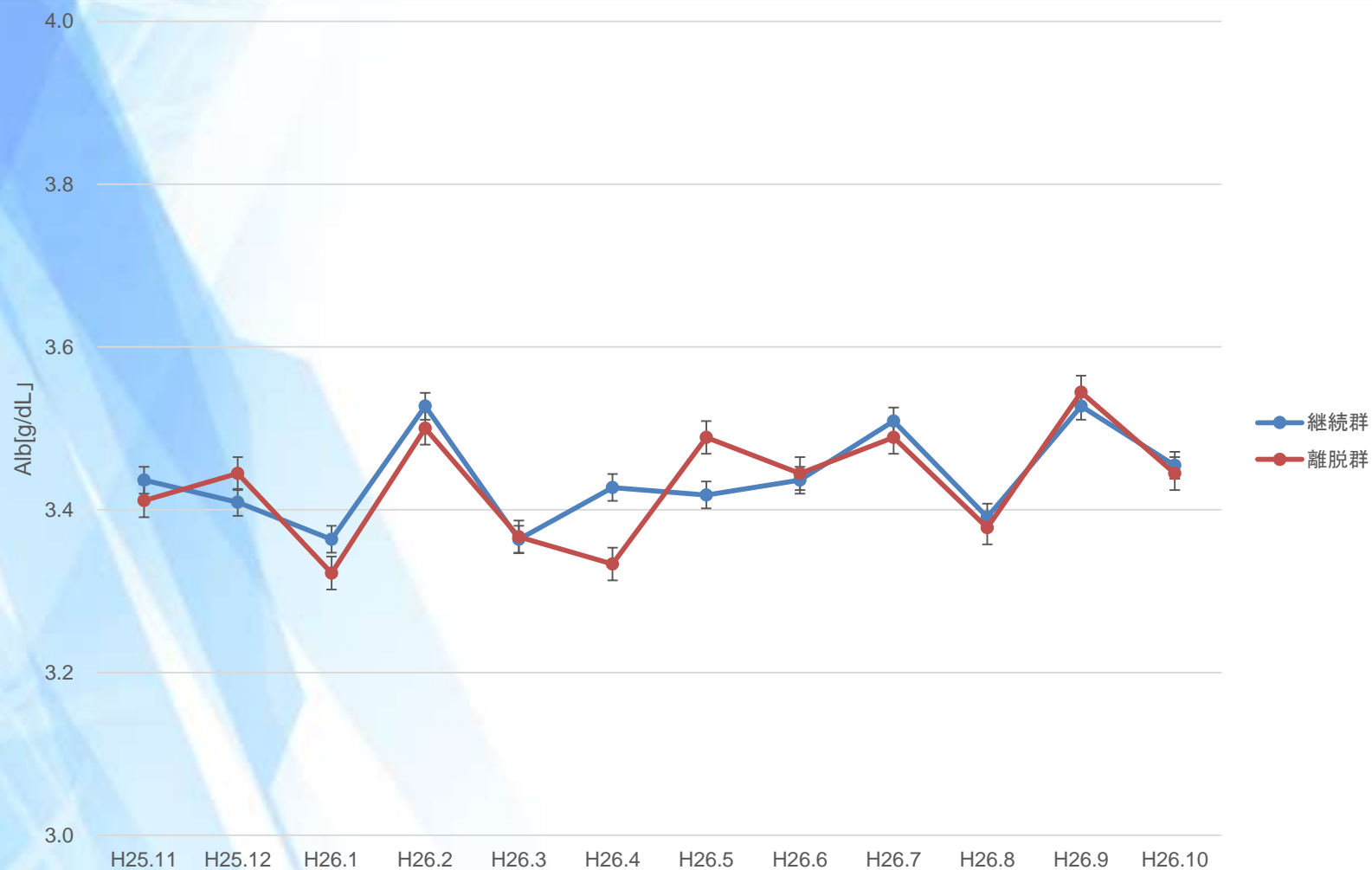
平成26年10月現在



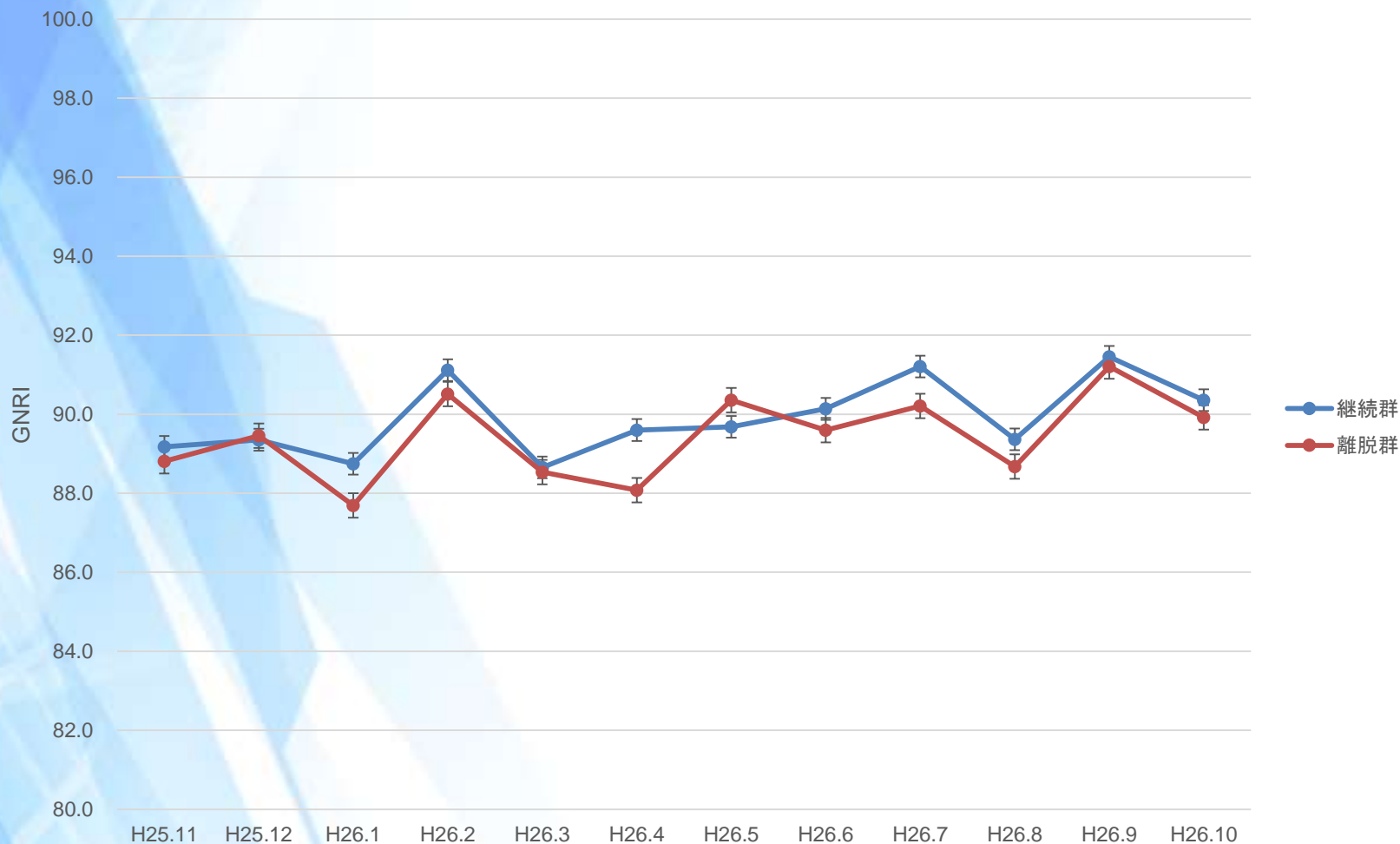
# 【DWの経過】



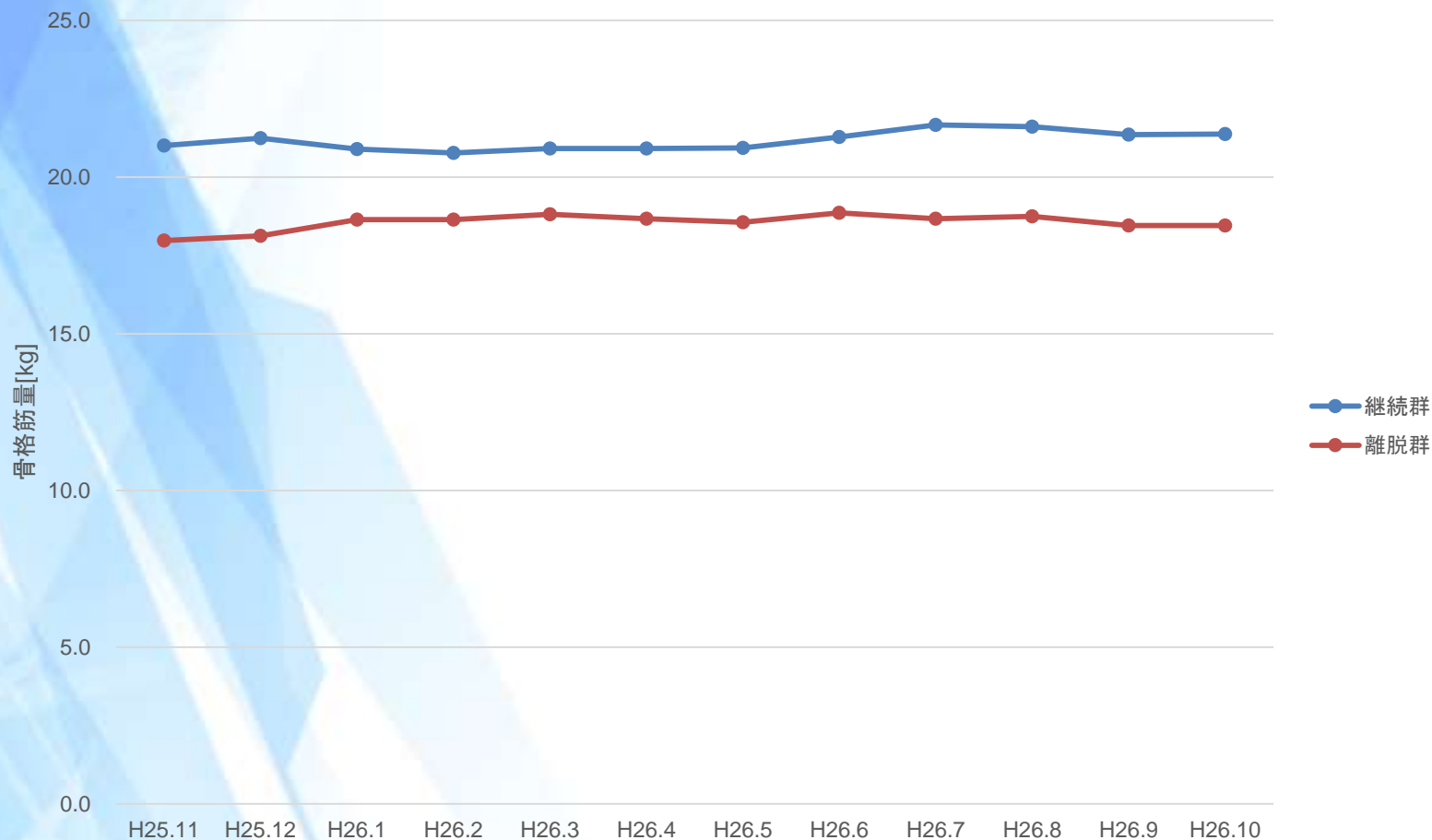
# 【Albの経過】



# 【GNRIの経過】

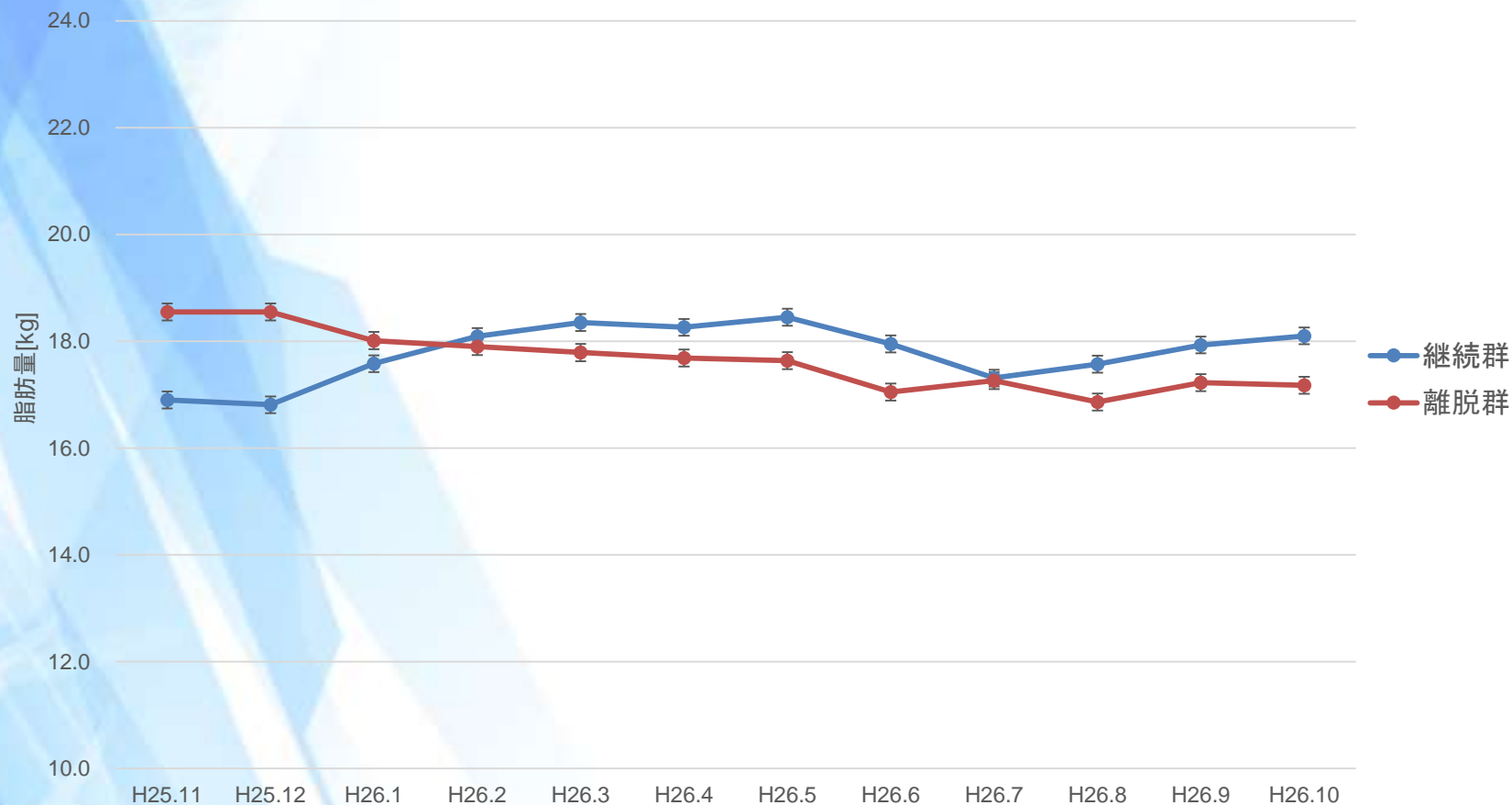


# 【筋肉量の経過】





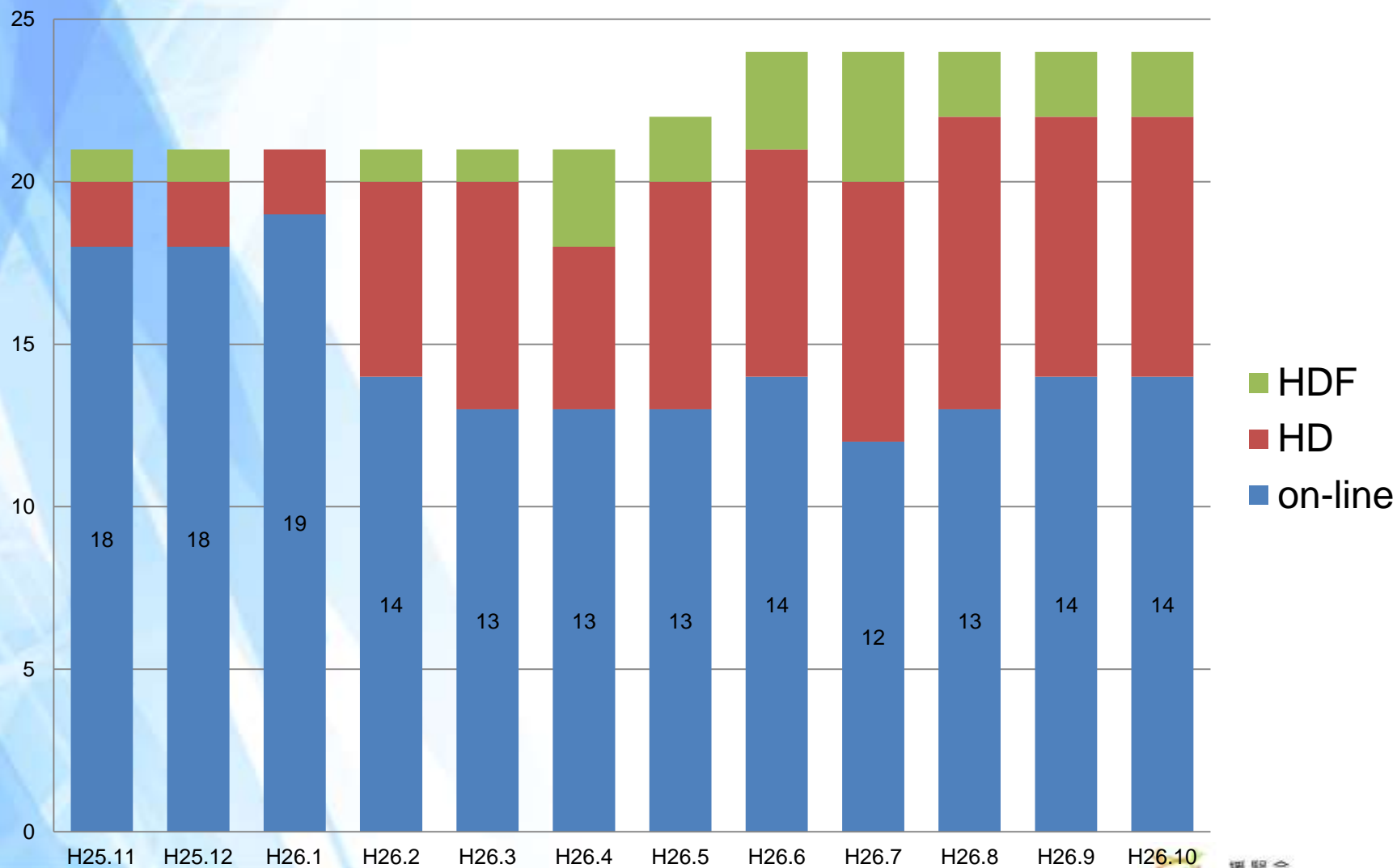
# 【脂肪量の経過】



## 【考察1】

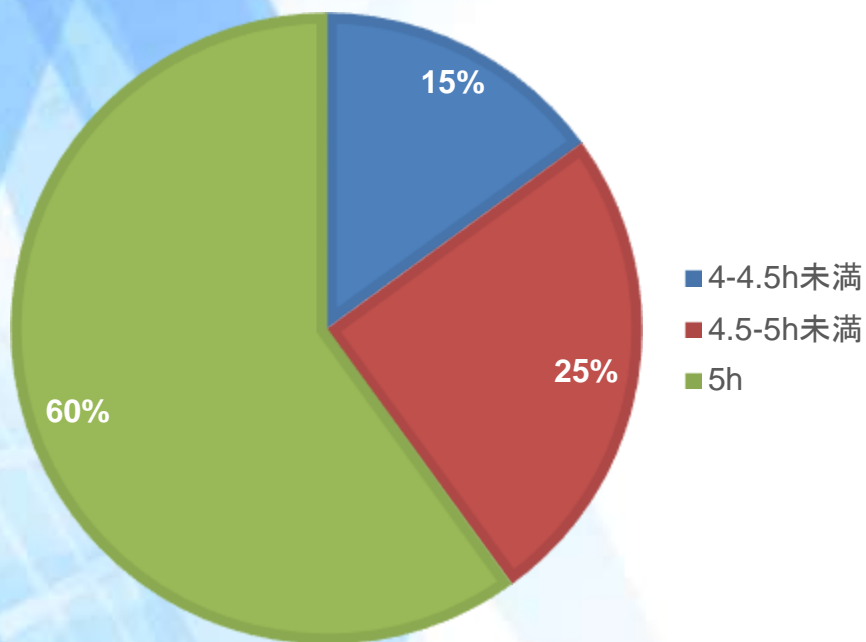
- 過去1年間に当院で透析治療を受けた後期高齢透析患者についてオンラインHDF施行の有無で比較検討した。
- 1年間の検討ではあるが、オンラインHDF継続群でDWの有意な増加が見られた。しかし、非継続群においても明らかな栄養状態の悪化は見られなかった。
- 後期高齢者でも、栄養面からもしっかり透析は有用であると考えられた。

# 【75歳以上全患者の透析方法】



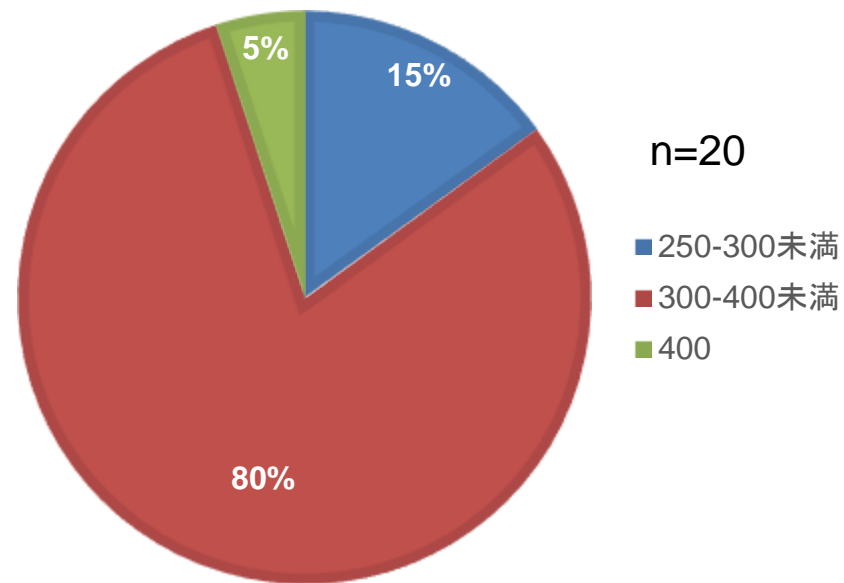
# 【今回対象とした20名の透析時間と血流量の分布】

## 透析時間



( 4.16～5.0時間 )

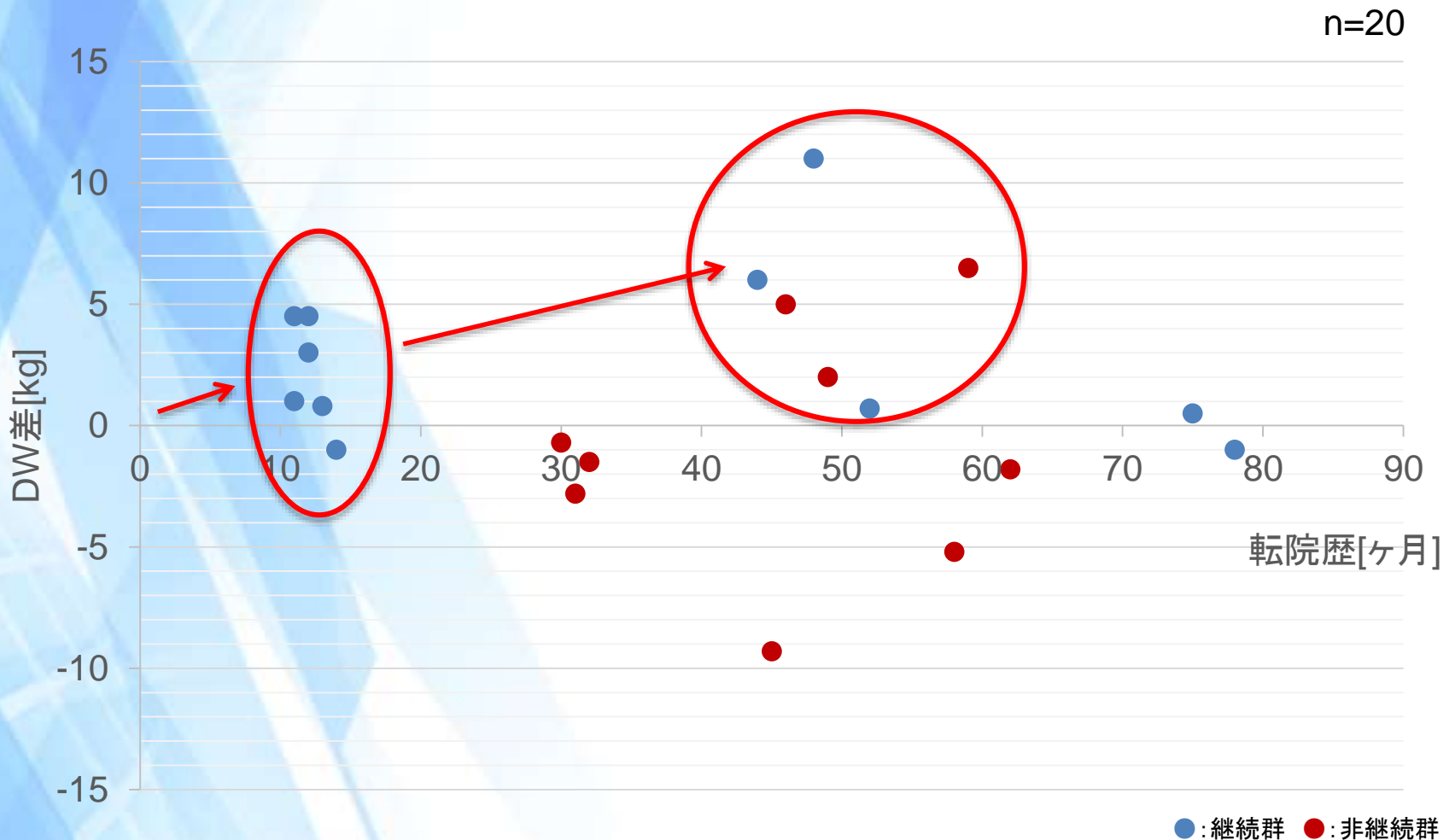
## 血流



n=20

( 250～400ml/min )

# 【転院から現在までのDWの推移】



## 【考察2】

- 高齢者の透析は、検査データが良好なことから、透析時間を短く、低い血流量で行われる事が多い。
- しかし、今回の検討では高齢者でも状態のいい患者に十分な透析を行えば、体重が増加していた。
- 高齢者でも可能な患者にはオンラインHDFを含めた十分な透析を行う事が望ましい。
- 高齢者と言うだけで透析量を少なめに設定する根拠はなく、十分な透析を行い、摂食不良や透析時に状態が変化する患者に対してはその都度対応していく方法も考慮すべきである。

# 日本HDF研究会 COI 開示

筆頭発表者名：鈴木 一裕

**演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある  
企業などはありません。**